

第10回新生ふくしま復興推進本部会議

○日時：平成25年9月9日(月) 9:45-10:00

○場所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

【内堀副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催します。

まず、「国の平成26年度予算概算要求」について、企画調整部長から説明してください。

【企画調整部長】

資料1の1ページをご覧ください。

平成26年度国の予算に向けまして、これまでの取組の流れを整理した表でございます。

6月12日につきましては、7つの分野43項目の要望を行いました。

さらに8月11日でございますが、原子力災害からの福島復興再生協議会におきまして、知事から特に重要な10項目について、国に求めていただいたところでございます。

2ページ目は概算要求・本県からの要請結果のうち、8月11日に知事から求めていただいた10項目の対応状況でございます。本県からの要請が左側に並んでおりますが、右の欄、復興庁概算要求はご覧のとおり、それぞれの項目、すべての項目につきまして、国には対応いただいているところでございます。

3ページ目は43項目につきまして現時点で把握している物を拾い出したものでございます。それぞれ囲みの左上に数字が載っておりますが、これは6月12日に要望した際の要望番号となります。

これから政府予算案につきましては、各省庁において予算折衝が本格化いたします。各部局におかれましては、これらの項目を含めまして本県の実情が確実に反映されますよう、情報の収集、そして内容の精査を進めていただきたいと思います。

以上でございます。

【内堀副知事】

この件につきまして、知事からお願いします。

【知事】

まず昨日、2020年の東京オリンピックの招致が決まって、国民等しく喜んでいるところであります。

特に後半戦になって、汚染水の問題が非常にクローズアップされてきて、それぞれ委員の皆さんは関心をお持ちになられていたと思います。

その中で安倍総理が汚染水問題については、政府が責任を完全に果たすと、まさに国際公約をしたわけでありまして、私はこの国際的な約束をしっかりと守っていただきたいと思います。

これを踏まえ、東京電力第一原発事故に関しては、東京電力はもちろん、政府には前面に出るということをしっかり念頭に置きながら、それぞれ対応、対処していただきたいと思います。

それから、政府予算であります。我々が求めていた要望については、概算要求でほぼ盛り込まれております。いよいよこれから政府予算の成立に向けてであります。来年度しっかりと復興を実行できるようにするということが、当初の我々の目標でありますから、それぞれ部局連携を図って情報収集をして、一丸となって予算獲得に当たってください。

そしてこれが復興の大きな加速に繋がり、しかも県民の皆さんに目に見える形となるということになりますから、全力で当たっていただきたい。

以上

【内堀副知事】

次の議題は、「医療関連産業集積に向けた新たな支援パッケージ」についてであります。商工労働部長から説明をしてください。

【商工労働部長】

資料2をご覧ください。

医療関連産業につきましては、これまで復興推進本部で重視する三つの視点の一つとして、精力的に検討を進めてまいりました。

6月には資料の左下にありますように、政府への重点要望として、成長戦略への位置づけ、財政支援など4項目について知事から要望を行っていただきました。

また、8月11日の協議会でも同様の要請をしていただきました。

その結果、今般、資料の右側にありますように、医療関連産業集積加速化に向けた新たな支援策の全体像がまとまりましたので御説明を申し上げます。

まず一点目の成長戦略でございますが、医療産業分野の成長戦略であります、健康・医療戦略において、福島県の医療機器産業の振興・集積を通じた復興と、我が国の医療機器産業の競争力を強化するという旨の記載がされました。成長戦略において個別の県名が出てきたのは福島県のみでございます。

次に③にありますように、福島県を医療機器の一大拠点とするため、医療機器メーカー等による研究開発・実証・製造拠点の整備等を支援する新たな補助制度の創設について、国の26年度概算要求に20億円が盛り込まれたところでございます。

また④ですが、国との協議におきまして、企業が行います海外展開、学会発表などの販路拡大を支援していくこととなりました。新規の医療機器開発の募集と併せて本日から募集を開始する予定でございます。

これらに加えまして、さらに、②にありますとおり規制緩和等を通じて本県発の医療機器開発を加速化するために、国家戦略特区へ申請を行いたいというふうに考えております。詳細については後ほど御説明いたします。

これまで実施してまいりました約150億円の有望な医療機器開発、あるいは産業集積の中核となる医療機器開発・安全性評価センターの整備に加えまして、今回の新たな

支援パッケージを進めることで、医療関連産業の集積加速化を進めていく考えでございます。

2 ページ目をご覧ください。

国に申請予定の国家戦略特区の概要でございます。

医療機器の市場ですが、世界的にも成長が見込まれておりますけれども、日本は治療機器が輸入超過状態にあります。また、研究開発をしても実用化になかなか結び付かないということ等が課題となっております。

今回の国家戦略特区の提案におきましては、本県が部品生産額全国第1位であるという強みを生かして、本県を世界に対抗できる医療機器生産拠点とすることを通じて、福島県の産業の復興に寄与していきたい、さらには日本の医療機器産業の成長に寄与していきたいと考えております。

特区におきましては、資料左下にあります三つの国際競争力の強化に資するプロジェクトを実施したいと考えております。

1つ目の生産力の国際化につきましては、医療機器メーカー等の本県への集積を図って、世界に対抗できる生産拠点を形成するものです。このため資料の右側のとおり、医療機器の国際的規格 I S O13485 の取得を集中的に支援し、取得企業への税制特例措置を求めていきたいと思っております。

2つ目の評価力の国際化でございますが、開発された国産の医療機器を世界で通用するレベルで評価しまして、早期の市場展開を支援するものでございます。現在整備を進めております福島県医療機器開発・安全性評価センターで行います医療機器の安全性評価を国際レベルとするために、海外の審査機関の専門家を招へいし、その外国人を受け入れるための在留資格の緩和などを求めていきたいと思っております。

3つ目の販売力の国際化につきましては、有望な医療機器開発案件を早期に事業化しまして、国内外への販売に繋げるものでございます。このため右側にありますとおり、国の審査機関が優先的に審査を行って、世界に先駆けて国内市場、海外市場に販売していくための規制緩和を求めていきたいと思っております。

以上、3つのプロジェクトを中心に提案書を作成しまして、9月11日に内閣官房に提出したいと考えております。

以上でございます。

【内堀副知事】

この件につきまして、知事からお願いします。

【知事】

医療関係産業はたびたび話しているとおおり、再生可能エネルギー産業と同時に、本県の未来産業の中心であり、今日まで力を入れてきた分野である。

いま報告のあった一つの支援策はもちろん、安全評価センターが期日までにスタートできるよう進めてほしい。

そしてこの分野は、本県産業の成長分野として、集積をしっかり図っていかなければいけない。それが雇用に繋がり、福島県の産業の基礎を作る産業となる。

さらにこの報告にあったように、海外との競争への対応が極めて重要であって、海外への進出も視野に入れてしっかりと対応しなければならない。それには国家戦略特区が実現するように、皆さんもしっかり対応してもらいたい。

以上

【内堀副知事】

続きまして3つ目の議題、地方本部の取組について、企画調整部長から説明してください。

【企画調整部長】

資料3をご覧ください。

新生ふくしま復興推進本部には7つの地方本部を設けております。

各地方振興局長が本部長となりまして、出先機関の連携により復興に向けた取組を進めているところであります。

今年度は3つの重視する視点の中から、各地域の実情を踏まえまして、重点取組として設定しまして、それぞれ資料3の右側に示すような交流イベント、インフラの整備促進など、特色ある取組を進めていただいているところであります。

今後、この本部会議の席上におきまして、各地方本部長から報告を受ける機会を設けまして、進捗状況等確認して県全体の復興の推進に繋げてまいりたいと考えております。

以上でございます。

【内堀副知事】

この件について、県北地方振興局長お願いします。

【県北地方振興局長】

県北地方振興局では、2つテーマを設けまして、「安心をPRする取組の強化」と「帰還に向けた環境整備と継続的な避難者の支援の取組」を実施しております。

前者につきましては、当振興局では11月に避難地域の住民の方を招いて、食をテーマとした住民交流イベントを開くこととか、農林事務所では「おいしいふくしまいただきますキャンペーン」などを実施しておりまして、後者につきましては、道路等のインフラ整備を建設事務所が、避難者の健康や心のケア等につきまして保健福祉事務所が中心となって実施しております。

以上でございます。

【内堀副知事】

それでは本日の議題それぞれ3点ありますが、知事の指示も踏まえ、しっかりと県全体で取り組んでいただきたいと思います。

以上で、本部会議を終了いたします。